

産学連携コーディネート 優良事例

【NPO法人 近畿アグリハイテク支援】

◆環境保全型農業と両立する生物的相互関係を活用した 難防除コナダニ類新管理体系の確立（2010～2012年度）

共同研究機関： 国立大学法人京都大学大学院農学研究科（中核機関）、広島県立総合技術研究所農業技術センター、岐阜県農業技術センター、岐阜県中山間農業研究所、山口県農林総合技術センター、奈良県農業総合センター、（地独）北海道立総合研究機構農業研究本部上川農業試験場、サンケイ化学株式会社

研究概要： 指定野菜ホウレンソウのコナダニ被害は全国36都道府県に及ぶ。微小で土壌に生息し確認が困難で、連作や有機質投入等により増殖しやすい土壌となっているため薬剤効果も低い。本研究では土作り技術を害虫面から見直し、コナダニを抑え天敵を増やす有機質資材管理技術、被害予測可能なトラップ、天敵と併用しうる防除技術等、環境保全型農業と両立する生物的相互関係を活用した新管理体系の確立を図り、中山間地農業を支援する。



課題提案者の感想： 産学官連携コーディネーターの支援に対して



京都大学
天野 洋 教授

提案書の準備を通して、近畿アグリハイテクのコーディネーターからは厳しくも親身な助言と支援を受けました。指摘は的確で、申請者が陥りやすい「思い込み」や「憶測」などは見事に看破されました。一同は必死になって書面やプレゼンの改善を尽くし、お陰で申請書も各段にランクアップし、プレゼン資料の論旨も一貫し、プレゼン当日は時間ぴったりに終えることができました。近畿アグリハイテクの真挚で的確な支援に、改めて感謝です。